

全国養護教諭連絡協議会

第18回 研修会報告

詳細は会報71号、瑞星10号に掲載！

平成27年7月30日（木）

7月31日（金）

8月 1日（土）

ヒューリックカンファレンス

〒111-0053

東京都台東区浅草橋1丁目22-16

講義 1 「研究、はじめの一歩」

研究とは、研究テーマとは

講師 千葉大学教育学部
教授 野村 純 先生



研究はコミュニケーションだ！

■研究とは

志を同じくする者同士のコミュニケーション手段であり、知の継承であり、勉強である。

■研究活動の流れ

■研究テーマはどう決める？

■テーマを決める上での注意

■地道な活動が養護教諭の地位の向上につながる！



受講者の声

- 研究を始める前に聴くことができ良かった。
- 欲張り過ぎないで等身大の研究をすることが大切だとわかった。
- 研究の進め方について根底からやり直す必要性を感じている。

講義 2 「眼の健康について」 色覚、カラーコンタクトレンズを含む

講師 日本眼科医会
理事 宇津見 義一 先生



目からの情報80~90%!

- 視力の発達
- 弱視とは
- 学校での色覚検査

平成15年に健康診断の必須項目から除外され、本人や保護者が希望した場合に限って、受けられる検査となった。このことにより、就職や進学時に初めて色覚異常に気付くケース見られるようになった。

- コンタクトレンズの着用状況

受講者の声



- 眼科の基礎から最近の話題まで幅広く知ることができた。
- 色覚検査についてわからないことが多く困っていたところで、今日のお話で胸のつかえがとれた。

講義3 「もう迷わない。 現場に基づいた養護臨床診断。 このサインは見落とすな！」

講師 花見川中央クリニック
院長 北垣 毅 先生



見極めが命！

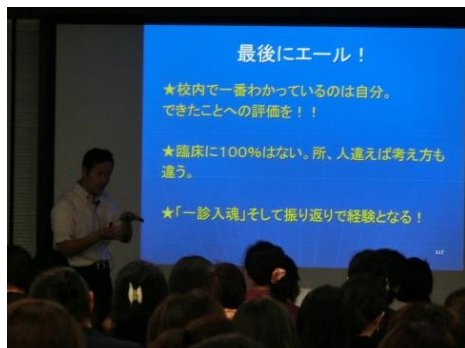
一診入魂そして振り返りで経験となる！

- 養護教諭に求められる救急、臨床診断
- 問診なしで救急車依頼が必要なケース
- こんな頭痛はすぐに病院へ！
- 緊急を要する腹痛
- 現場でのアナフィラキシー対応



受講者の声

- 「臨床に100%はない」の言葉が印象的だった。
- 昨年も受講した。動画を交えての講義はわかりやすく養護診断をするうえで学ぶことが沢山あった。



講義 4 「学校の中の 性同一性障害の子ども」

講師 岡山大学大学院
教授 中塚 幹也 先生



SexとGender

子どもたちは希望する性での学校生活を送っているか？

■ 性同一性障害とは

■ MTFとFTM

■ 性別違和感はいつ始まる？

■ 学校の役割 性別違和感を告白できずに苦しんでいる支援するために・・・



受講者の声

- 学校の中で性別違和感に苦しんでいる子がいるかもしれないことを知り、告白できる環境を作っていくことが大切だと思った。
- 「そういえば・・・」と思い出される生徒が何人かいてきちんと対応できなかったことを後悔している。

講義 5 「組織的に機能する保健室 経営の進め方」

保健室経営計画作成と評価

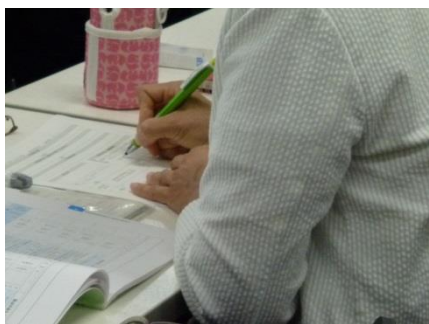
講師 順天堂大学
教授 采女 智津江 先生



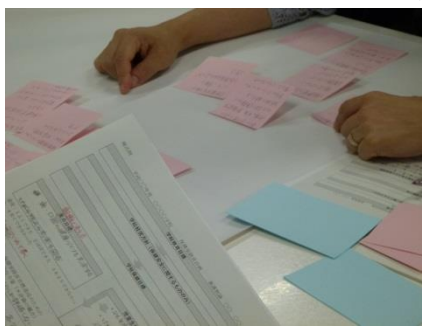
■ 保健室経営計画の主な内容

■ 課題解決型保健室経営計画作成手順

① 各自で経営計画を書いてみた



② 上手く書けない！その理由をグループで考えた



受講者の声

- 法的根拠をもとにした説明を受け、理解が深まった。
- 課題解決型保健室経営計画、目からうろこ！元気になった！